

(1) 金剛地区再生指針の進捗について (令和6年度)

（取組の視点・項目）

1 地域の連携による「サービス」と「支え合い」の展開

暮らしの安心を支える、生活サービス充実、「居場所」「活動」「交流」づくり

進捗（取り組んできたこと等）

下線・・・新規

- 地域活動・交流拠点となる「わっくcafé」の運営
- 寺池公園プレーパーク実施（木登り、ターザンロープ等）
- 「世代、分野を問わずに誰でも集まれるつながりの場」をコンセプトに誰もが立ち寄れる地域の交流の場として虹いろサロンこんごうを運営

2 多様な「住まい」の供給・流通の促進

改修や建替、流通促進、住宅市場活性化等

- 空き家バンク登録制度（契約が成立した場合、所有者、居住希望者に対し、補助金を交付 など）
- 魅力的なりノバージョン住戸の供給、「U35割」「子育て割」等、若年層の入居促進を実施（UR）

3 豊かで多機能な「空間・施設」の充実

多機能な生活拠点づくり、空家・空店舗等の活用、広場や通りの再生等

- 空施設の活用（∞KON ROOM、わっくCafé等）
- 寺池公園の水辺が眺められる空間づくり（伐木、除草）
- 金剛中央公園で「金剛てんこもりフェス」、「防災体験」、「バーベキュー社会実験」を同時に行うParkDay2024を開催
- 金剛駅周辺を対象に、金剛駅まちなかウォークブルビジョンの策定。社会実験を実施。

4 まちを運営する「仕組み」の構築

住民等主体によるまちの運営、運営組織の設置、活動場所の創出、イベント等の開催

- 「金剛地区まちづくり会議」による活動推進
- 金剛マルシェ、金剛バル等のイベント開催
- 大阪大谷大学、阪南大学、UR都市機構、市の4者により、KONGO Living Lab Project（KLLP）始動。令和6年7月24日に4者で包括連携協定を締結。